

児童発達支援事業所における自己評価結果(公)

公表： 2024年 2月29日

事業所名 放課後等デイサービスKou+N

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	4	活動に応じてスペースの配慮を行う。動きのある活動の際はグループ分けをしています。	今後もう少し広いスペースになるよう模様替えを検討中。
	2	職員の配置数は適切である	6	2		お子様のご利用に応じて適切な人数で支援させていただいていますが、お子様にとって安全を一番に職員が足りなくならないよう配慮しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	6		建物の構造上の問題もありますが、お子様にとって都度改善できるよう考慮します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8	0	毎日清掃しています。空間が狭い時は、グループ分けし、子供たちの安全確保を第一と活動しています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	0	職員間で周知できるよう業務の確認や支援の振り返りを行っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0		今後改善すべき点に気づかせて頂きました。安心してご利用頂けるよう善処していきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	ホームページで公開していきます。昨年度分は公開済みです。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	8		第三者による外部評価は行っていません。必要に応じて検討致します。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	強度行動障害、虐待防止研修など必要に応じて受講しています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	半年に一度、管理者もしくは児発管が保護者と面談し、適切な支援が提供できるようにアセスメントの見直しや計画の作成を行っています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	4		標準化されたアセスメントツールの活用はしていませんが、個々に応じて必要なツールは活用しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0	管理者、児発管を中心に職員間で話し合い一人ひとりに寄り添った支援内容を設定しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0		行っております。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0		行っております。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	個々の課題や伸びている分野、子供たちが好きな遊びを組み合わせながらのプログラム。季節を感じられる製作など変化をもたせています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	0		作成しています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	8	0	支援開始前に打合せ出来ない時もあるが、SNSのツールなどを利用し、前日の夜に翌日の流れを把握できるようにしています。	対面での打ち合わせもしっかりできる環境を目指していきたいです。
	18	4	4	送迎の関係上、打ち合わせができない時もあるが、情報共有ができるようSNSを活用しています。	送迎の関係上難しいが、共有漏れがないようにSNS以外の方法も模索していきたいです。
	19	8	0	記録は毎日とっています。記録の中に改善につなげられる内容も記入し反映させています。	
	20	8	0	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	
関係機関や保護者との連携	21	8	0	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	
	22	4	4	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	
	23	8	0	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	お子様が保育園、幼稚園に通われた時はしっかり連携を取らせて頂きます。
	24	8	0	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	連絡体制を整えています。
	25	8	0	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	情報共有を行っています。
	26	8	0	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	担当者会議や担任の先生方と情報共有を行っています。
	27	8	0	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	センターご利用のお子様に関しては担当者会議で助言を受けております。
	28	0	8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	現在のところありません。
	29	0	8	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	積極的に参加はしていません。
	30	8	0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	連絡帳や送迎時に保護者様へフィードバックさせて頂いています。
31	4	4	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	ペアレント・トレーニングは行っていないが、保護者様からのご相談はいつでも伺える状態にし、問題を改善できるよう努めます。	
32	8	0	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	契約時に行っております。	受給者証の変更があった場合、都度ご説明させて頂きますが保護者様へわかりやすくお伝えできるよう心がけます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
33		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	0	8	モニタリングの際に、保護者様より支援に対するご希望をお聞かせ頂き、事業所での支援内容と擦り合わせながら支援計画を作成。保護者様にご納得頂ける内容で署名頂いています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	連絡帳や送迎時にご相談、ご質問があった場合、寄り添ったお答えができるよう努めています。	その場でお答えできなかった場合、職員間で相談し後日お答えできるよう対応させて頂いています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	8	現在、保護者同士の連携の支援はしておりません。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	適切に対応できるよう心がけています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	毎月おたよりや、不定期ではありますがブログ、インスタなどのSNSでお子様の活動内容を発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0	注意しています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	配慮するよう心がけています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	8	地域に開かれた事業運営は図っていません。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	0	水害、地震からの火災の避難訓練を実施しております。また、年間計画として不審者対応などの訓練も組み込まれております。感染症対策などのマニュアルもBCP策定の義務化と共にHPIに掲載しており職員間でも周知しています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	避難訓練は年間計画をもとに行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	8	0	確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	8	指示書はなく、保護者様からの情報のみとなっております。今後改善させて頂きます。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	4	事例があった場合、口頭で周知を図ることが多い。今後しっかり事例集を作成していきたいと思います。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	管理者が虐待防止研修を受け、職員間で周知。適切な支援が行えるよう話し合いを重ねています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	0	どのような場合に身体拘束にあたるのか職員間で理解した上で、現在のところ身体拘束にあたる事例はありません。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。